

鴻巣市メインキャラクター
「ひなちゃん」



平成30年11月16日(金)
人形のまち鴻巣宿まち歩き



鴻巣市産業観光館「ひなの里」
人形店の蔵を利用しています



勝願寺の山門
勝願寺は徳川家とゆかりが深く、葵の紋の使用が許可されていました

歴史のみち広域景観形成プロジェクト

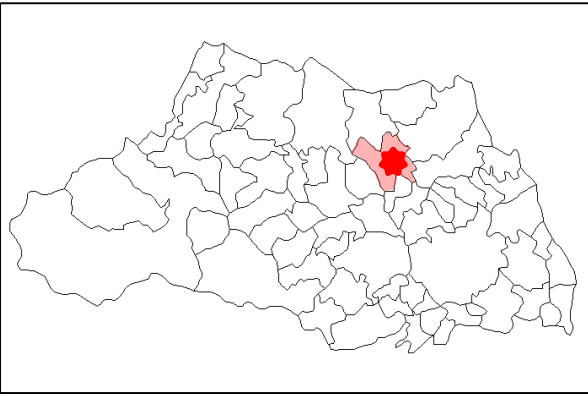
○ 旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保全・活用し、広域景観形成を進めるプロジェクト。

- ・ 地域景観資源発掘調査
- ・ 歴史のみち景観モデル地区の選定
- ・ 講演会、まち歩きなどの啓発活動
- ・ 景観重要建造物の指定

歴史のみち 景観モデル地区



鴻巣宿の概要



鴻巣には「人形町」という町名があり、その名のとおり江戸時代より雛人形の製作が行われ、現在も工房や店舗が建ち並んでいます。

地区の概要

○交通

JR高崎線鴻巣駅東口下車徒歩12分

○なりたち

中山道沿線には歴史的にも貴重な神社・仏閣等の資産や、地域を代表する伝統産業である「雛人形」づくりの拠点

景観資源

勝願寺(しょうがんじ)



勝願寺は、天正年間はじめ（1573～1591年）惣誓清厳（そうよせいがん）により中興されました。その後、文禄元年（1592年）の鷹狩の際に勝願寺を訪れた徳川家康が、清厳の弟子で勝願寺二世住職であった円誓不残（えんよらざん）に深く感銘を受け帰依したことから、「葵」の紋の使用を許可し、30石の朱印地を与えました。

鴻神社(こうじんじゃ)



鴻巣市産業観光館「ひなの里」



明治期の蔵を中心とする歴史的建造物で、鴻巣市の観光情報の発信基地となっている施設です。

埼玉県では、地域の自然、歴史、文化等からみて、その外観に景観上特徴があり、道路その他の公共の場所から望見される建造物を『景観重要建造物』に指定し、保全を図っています。

埼玉県景観重要建造物
平成25年10月8日指定



コバトン

日本一高い！！ピラミッドひな壇



高さ
7m
31段

鴻巣宿の取組



上
ひな祭りに合わせて、
ひな人形を飾りつけ、
館内を公開しました。

下
5月開催のこのす花
まつりではオープンガ
ーデンに参加し、園内
を公開しました。



毎年1月に行われている梯子乗り、当日は地元の人形町町内会
から協力をいただき、おしるこのおもてなしをしました。



鴻巣女子高校とお茶会
(ひなの里：ひなまつり)

※喫茶営業はイベント時のみ

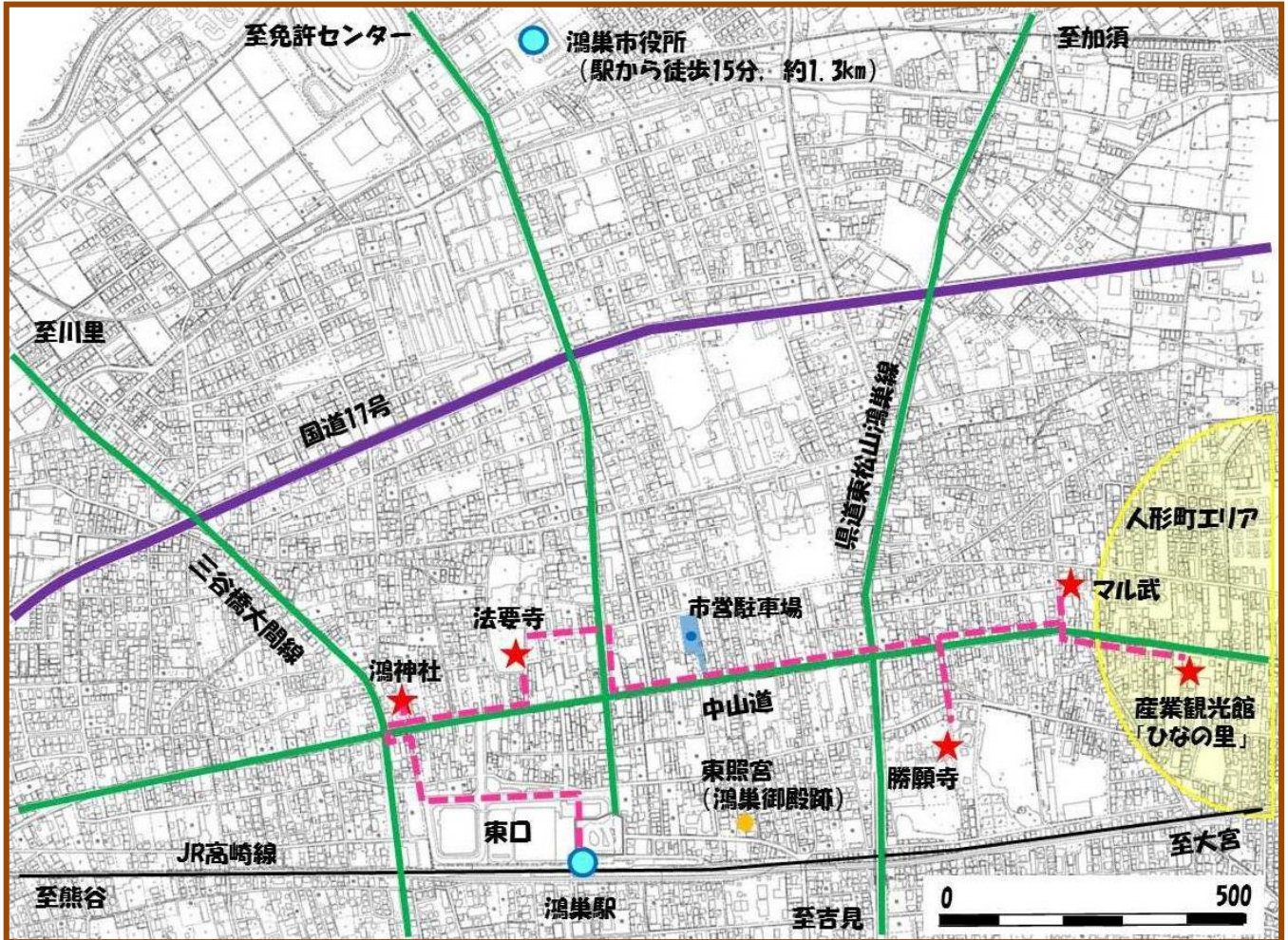


絵付け体験教室
(ひなの里)

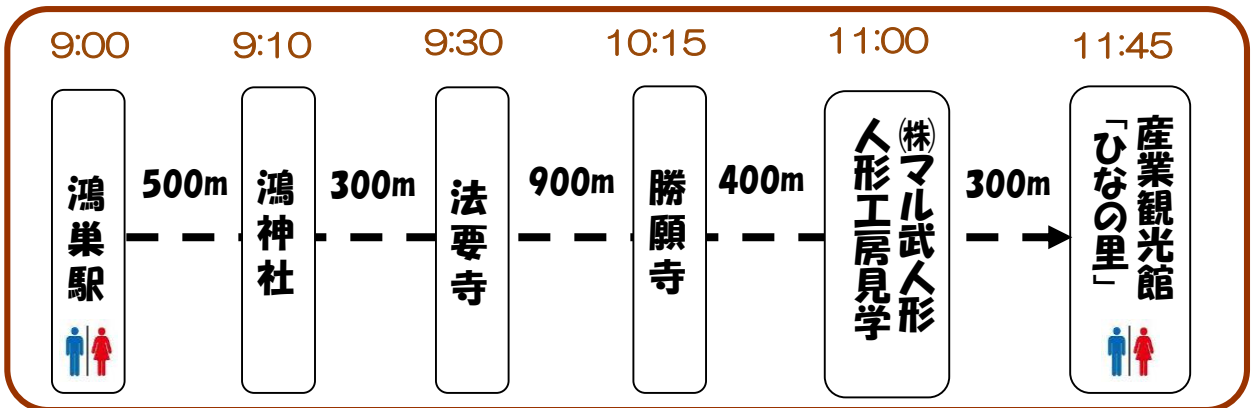


まち歩きで立ち寄
った人形工房（着
物着付けの実演）

～まち歩きコースの御案内～



総距離：約2.4km



鴻巣郷土史会
 鴻巣市 都市計画課
 埼玉県 田園都市づくり課

まち歩きは3者共同での
 取組みです！